物質計測・イメージング研究室

～データから情報を引き出し物理化学現象を明らかにする～

青柳 里果・山嵜 崇之

背景

優れた分析技術
先端計測
データ駆動科学

高い研究・技術水準を保つには
電気製品、半導体・・・
自動車・・・
食品、日用品、化粧品・・・
医薬品・・・
基礎材料：鉄、金属、無機材料、
有機材料、高分子・・・

どの分子がどこにどのくらいの量あるのか？
分子の配向は？
化学状態（反応、結合）は？
どのような化学現象が生じているのか？

現象の解明
物理・化学・生命科学

計測とデータ解析
新規材料開発
デバイス評価
医薬品開発
診断技術
測定結果は出てくるが・・・

Pixel/ Peak	1.01	...	27.02	...	1000
1					
2					
...					
16384					

他成分系試料の計測データから純粋成分の化学情報をデータ解析（多変量解析・機械学習・深層学習など）で取り出す。

生物・物理・化学現象解明へ
科学・社会への貢献

研究室の成果

飛行時間型二次イオン質量分析 (TOF-SIMS) :
1 μm以下の細かさで、分子ごとの分布を明らかにできる分析手法
データが複雑なため解釈が困難な場合がある
データ解析の応用が有効（多変量解析）

応用例

ごく少量の微小部分分析可能！
未知物質の同定
詳しい化学構造評価
分子イメージング

analytical chemistry
Article
pubs.acs.org/ac

OrbiSIMS Imaging Identifies Molecular Constituents of the Perialgal Vacuole Membrane of *Paramecium bursaria* with Symbiotic *Chlorella variabilis*

Satoka Aoyagi, Yuuki Kodama, Melissa K. Passarelli, Jean-Luc Vorng, Tomoko Kawashima, Keisuke Yoshikyo, Tatsuyuki Yamamoto, and Ian S. Gilmore